

2025年度

Principia I

事前研修④問の見つけ方について

2025/05/22

今日の流れ

1. 問いとは何か(10分)
2. 問いの種類(5分)
3. 問いを考える(30分)
4. 問いを考える(15分)
5. 本時の振り返り(5分)

目的

課題研究における問いの意味を理解し、
明確な問いを設定できるようになる

問いとは何か

課題研究を進めるための方向性を示す質問
研究テーマにおける問題点を明確化し、
研究の焦点をさらに絞る役割を持つ

問いとは何か

テーマ

三毛猫の模様の違いによる人が感じる印象の変化について

問い

三毛猫の模様の分布は、かわいらしさや美しさの評価に影響するか？

良い問いとは

- ・ 具体的であること
- ・ 達成可能であること
- ・ 研究意義があること

良い問いとは

研究テーマに対する問いを設定し

その答えを考える

そこから更にあらたな問いを設定する

これを繰り返すことで

より良い問いにたどり着くことができる

問いの種類

言葉の意味や定義を問う

原因を問う

信憑性を問う

比較を行う

先行研究や先行事例を問う

影響を問う

方法や関連性を問う

問いを考えてみましょう

自分が考えたテーマをもとに
問いを考えてみましょう

研究テーマは前回までのものを利用しても可
なければ

「三毛猫の模様によって人が感じる印象の変
化について」から考える

2025年度

Principia I

事前研修⑤問の見つけ方について

2025/06/05

今日の流れ

1. 問いの検証方法について(10分)
2. 問いを個人で発展させる(15分)
3. 問いを班で発展させる(15分)
4. 問いを検証する(20分)
5. 本時の振り返り(5分)

問いの検証方法について

答えがすぐに見つかる問いは
ただの調べ学習になってしまう
このような問いを
課題研究の問いに発展させよう

問いの発展について

クエスチョンマッピングをやってみましょう

- ① 中心にテーマを書く
 - ② テーマに対する問いを周りに書き
○で囲む
 - ③ 得られた答えを書き□で囲む
 - ④ 答えより新たな問いを立てる
- これを繰り返す

クエスチョンマッピング例

三毛猫の模様の違いによる人が感じる印象の変化について

Q
三毛猫の模様パターンはあるのか

Q
三毛猫の模様パターン別で人気に差はあるのか

A
縞三毛やキジ三毛、クロ三毛などがある

過去調査した例がなさそう

問いの検証について

テーマに対する

実施する問いが見えてきたら

課題研究の問いとなり得るかを検証する

できなかつたら問いの設定からやり直す

問いの検証について

どこの地域が対象か
広範囲で実施することは意義があるが、
現実的に難しい

地方-横須賀市、横須賀高校
世界-日本、
のように限定する

問いの検証について

対象者はどのような人か

年齢、人種、国籍、宗教観などで結果が異なる可能性がある

子ども-13~15歳

などテーマに応じて設定する

問いの検証について

いつの時代の話か

焦点を当てる時代で論点が大きく変化する
一定の時期についてなのか、一定期間での変
化なのか

現代の状況について調べる場合、すでに答え
が出ている可能性があるので注意

問いの検証について

どのような状況を想定しているのか

例えば水不足

-乾燥地帯の水不足と

-安全な水が手に入らない

とでは意味が大きく異なる

前の3つの項目を踏まえて定義を明確化する

問いの検証について

どのような学術分野に焦点を置いたのか

学術分野によって研究の方向性が異なる

また、必要となる専門知識もの異なる

協力者や自身の知識などから方向性を設定する

※クラスルームに学術分野一覧は投稿済み

問いの検証について

見通しがたち、調査や実験が実施可能か

方向性がわからなかったり、研究の進め方の検討がつかない、時間がかかりすぎるものは適切でない

- 沖縄の〇〇のサンゴ礁は再生可能か

- なぜ重力が存在するのか

など

問いの検証について

何が必要か、準備可能か

似ている研究内容などから今の段階でわかる
必要な資源をリストアップする

問いの検証について

生物を利用する場合

倫理的な問題がないか

本当に入手可能かなども検証する

実験は実施する状況

調査は実施する場所を

具体的に想定する必要がある

2025年度

Principia I

事前研修⑥問の見つけ方について

2025/06/12

今日の流れ

1. 先行研究や事例の意義(5分)
2. 先行研究や事例の探し方(10分)
3. 先行研究と先行事例を確認する(25分)
4. 本時の振り返り(5分)

本時の目的

先行研究や先行事例の
探し方とその内容理解の方法を身に付ける

先行研究や先行事例の意義

先行研究や先行事例を理解することは、
研究テーマの決定から
研究内容をまとめるまでの
すべての段階において重要となる。

先行研究や先行事例の意義

研究テーマに対する理解を深める

問いを立てる

研究方法を学ぶ

研究結果をまとめる

研究論文を書く

すべての過程で必要となる。

探し方

自分の研究テーマに対する

問いがまとまったら

研究内容に関するキーワードが
絞られてくるはずである

このキーワードをもとに調べることで
近い内容の研究や事例を
見つけることができる

情報源の種類

新聞

ネットニュース

本・雑誌

テレビのニュース

ドキュメンタリー映像

有識者の話

情報源の種類

それぞれの

メリットとデメリットについて紹介

情報源の種類

新聞

図書館などで昔の資料を閲覧できる
地域に関する情報を集めやすい

特定のテーマについて学ぶには適さない
新聞社によって書き方が異なる

情報源の種類

ネットニュース

最新の情報を得ることができる

アクセスが容易である

削除される可能性がある

匿名性が高いものは信頼度が低いことがある

自身の考えに沿うものが優先されてしまう

情報源の種類

本・雑誌

特定のテーマについて体系的に学べる

入手が容易

引用や参照が不十分な場合は
信憑性に欠ける場合がある

情報源の種類

テレビニュース

その日の出来事や突発的な出来事にふれることができる

再びアクセスすることが難しい

詳細を知ることが難しい

情報源の種類

ドキュメンタリー

視覚と聴覚で情報を得ることができる

特定のテーマについて深く触れることができる

一方的な視点からの情報は偏っていることがある

情報源の種類

有識者の話

質疑応答などで知りたい情報をその場で入手可能である

自身の思いつかないことが知れる

個人的な見解を含む可能性がある

先行研究、事例の探し方

先のスライドにあるようなものから探しても良いが、

今回は論文や報告書で探してみましよう

先行研究の探し方

Google Scholar

様々な分野の学術資料を検索できる

CiNii

主に日本で出版された論文、図書、雑誌について検索できる

先行研究の探し方

IRBD-学術機関リポジトリデータベース

大学等の学術研究機関による研究産物を
保存・公開することを目的としたシステム

J-STAGE

JSTが運用する電子ジャーナルプラット
フォーム

先行事例の探し方

国や地方自治体による報告書、
企業やNGO、NPOによる
取り組みを調べる

神奈川県の報告書など

先行事例の探し方

先行事例とは異なるが
データベースから情報を得ることも
テーマ設定や問いの設定において有効である
e-Stat(政府統計ポータルサイト)
RESAS(地域経済分析システム)
など

先行研究の確認ポイント

序論

問いは何か

これまでの研究から導かれた本研究の意義

この研究で明らかにすること

どのような研究手法を用いるのか

先行研究の確認ポイント

本論

研究によって明らかにになった事実は何か
その事実からどのような答えを導いているか
答えは何か
予期せぬ発見はないか

先行研究の確認ポイント

結論

その研究の答えが簡潔に示されている

先行事例の確認ポイント

事例の目的は何か
何を目的としているのか

目的達成のために
どのような組織や個人が関わったのか

先行事例の確認ポイント

目的達成のために組織や個人が
どのように関わって何を行ったのか

取り組みの結果、
どの程度目的が達成されたのか
残された課題がどの程度あるのか、
その理由は何か

先行事例の確認ポイント

先行事例が現在どのようなようになっていて、
何を目的として誰が引き継いでいるのか

先行研究、事例の確認ポイント

これらのポイントを抑えるように

キーワードから

先行研究、事例を探して

まとめてみましょう

先行研究、事例から振り返る

自身がまとめた内容を振り返ってみましょう

- 自身の問いに対する先行研究、事例を見つけることができなかった。
- 理解が難しかった、理解できない部分があった。
- ほとんど同じことが実行されていた。

先行研究、事例から振り返る

□ 自身の問いに対する先行研究、事例を見つけることができなかった。

可能な限り複数の種類の先行研究や先行事例を探す。

キーワードを見直すか検索サービスの種類を変更し、詳しくそうな人を頼る

先行研究、事例から振り返る

□ 理解が難しかった、理解できない部分があった。

自分の研究でも同じようなことが起こる可能性がある。理解できなかった部分が自分の研究にどのように影響するのか、確認する。

言葉の意味や定義がわからなかったものは確認し、理解するようにする。

先行研究、事例から振り返る

□ほとんど同じことが実行されていた。

先行研究の不備や異なる点があれば、その点を強調することで新たな意義を見いだせる可能性がある。

そのような点を強調できるようにテーマや問いを修正する。